

整理番号 miyagisetukai-3

作成日 2016年7月1日

## 安全データシート

---

製品名： 生 石 灰

---

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	酸化カルシウム
会社名	全国農業協同組合連合会
担当部署	肥料農薬部
住所	〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 J Aビル 33F
電話番号	03-6271-8285
FAX 番号	03-5218-2536
電子メールアドレス	<a href="mailto:zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp">zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp</a>
緊急連絡電話番号	03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

---

### 2. 危険有害性の要約

強アルカリ性で目に入ると、最悪の場合、失明のおそれ

#### GHS 分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外

	酸化性固体	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分5
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉塵）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分1C
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
	呼吸器感作成	分類できない
	皮膚感作成	区分外
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分1（呼吸器系） 区分2（全身毒性、消化器）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器系）
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	区分1
	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ（経口） 重篤な眼の薬傷・眼の損傷 呼吸器系の障害 全身毒性、消化器の障害のおそれ 長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

---

### 3、組成、成分情報

#### 化学物質

化学名又は一般名 酸化カルシウム (Calcium Oxide)

化学式又は構造式 CaO

官報公示整理番号

化審法 (1) - 189

安衛法 公表

CAS 番号 1305-78-8

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

分類に寄与する不純物及び安定化添加物は含まない。

---

### 4. 応急処置

吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸し易い姿で休息させること。  
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合 直ちに皮膚を流水又はシャワーで洗う事。必要に応じて、医師の  
診断を受けること。

眼に入った場合 多量の水で十分に洗い流すこと。直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 速やかに口をすすぎ、直ちに医師の手当て、診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状

吸入：灼熱感、咳、息切れ、咽頭痛

皮膚：皮膚の乾燥、発赤、皮膚熱傷、灼熱感、痛み

眼：発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷

経口摂取：灼熱感、腹痛、胃痙攣、下痢

遅発性症状 肺水腫

応急処置を行う者の保護

救助者は、状況に応じて保護メガネ、保護手袋、防塵マスク等の  
適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

眼の中で水分やタンパク質と反応して生成した酸化カルシウムの  
塊は水洗浄で除去するのは困難。医師の手での除去が必要。

---

### 5、火災時の処置

本製品自体は不燃性であることから、周囲の火災状況に応じた消火剤を使用して下さい。

ただし、本製品が多量に存在する場合には、棒状消火剤の使用は不適です。

---

## 6、漏出時の措置

人体に対する注意事項	保護手袋、保護メガネ、長靴、防塵マスク等の保護具を着用する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和	漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等によりできるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。 回収品は、13、廃棄上の注意に従い廃棄する。

---

## 7、取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	皮膚に付いたり、粉塵を吸入しない様に適切な保護具を着用する。
局所排気・全体換気	局所排気装置を使用するか、取扱いは換気のよい場所で行う。
保管	
保管条件	水との接触を避けて保管すること。
容器包装材料	紙袋、ポリ袋、ポリ容器、フレコン、鉄製容器など

---

## 8、ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	ACGIH (2005年版) TLV-TWA 2mg/m <sup>3</sup>
設備対策	粉塵が発生する場合には、局所排気を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護メガネ、保護ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	保護衣、安全靴等
衛生対策	取り扱い後はよく手を洗う。

---

## 9、物理的及び化学的物質

物理的状態、形状、色など	白色～茶色
pH	12～13
臭い	無臭
融点・凝固点	2570℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	2850℃
引火点	不燃性

比重（密度）	3.3～3.4g/ml
溶解度	1g/840m L水。水と反応し消石灰を生成する。この時発熱する。
自然発火温度	不燃性
燃焼性	不燃性

#### 10、安定性及び反応性

安定性	大気中で炭酸ガスを吸収して水酸化カルシウムと炭酸カルシウムを生成する。大量堆積の場合は、湿気により 300℃位に上昇する。
危険有害反応可能性	水と反応して、可燃物を発火させるのに十分な熱を発生する場合あり。酸、ハロゲン、金属と激しく反応する。硫酸、五フッ化水素と接すると発火する。塩酸と接すると発熱する。
避けるべき条件	水、酸類、可燃物、金属類との接触。
混触危険物質	強酸化剤、酸類。
混触危険物質	酸類、ハロゲン類、金属類。

#### 11、有害性情報

急性毒性	経口マウス LD <sub>50</sub> =3059mg/kg。飲み込むと有害のおそれ（区分5）
皮膚腐食性・刺激性	皮膚に対して腐食性。湿った皮膚に対して強い刺激性。国連分類クラス8、III。重篤な皮膚の薬傷、眼の損傷（区分1C）
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼に対して刺激性あり、最悪の場合失明するおそれあり（区分1）
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器感受性：データなし 皮膚感受性：ヒトの試験で陰性との記載あり。
生殖細胞変異原性	酵母菌による有糸分裂組み換え試験で陰性、エームズ試験で陰性。 <i>in vivo</i> のデータはない。分類できない。
発がん性	データなし
生殖毒性	データ不足の為分類できない。
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	粉塵吸入は気道の炎症、肺炎、のおそれ（区分1（呼吸器）） 誤飲すると脈が速く、弱くなり、呼吸が速く、浅くなり、体温が下がり、声門腫により呼吸をしにくくなりショック状態になる。

食道、胃の穿孔も生じる。(区分2 (呼吸器系))。全身毒性、消化器の障害のおそれ。

特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)

鼻中隔の潰瘍、穿孔の報告がある。(区分1 (呼吸器))  
長期または反復ばく露による呼吸器系の障害。

吸引性呼吸器有害性

ヒトで吸引性肺炎が報告されている。  
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ (区分1)

---

1.2、環境影響情報

環境影響	接触水はpH12~13を呈することから、環境への流出を避ける。
生体蓄積性	水性環境急性有害性 魚類 (コイ) の96時間LC <sub>50</sub> =1070mg/L であることから区分外。 水性環境慢性有害性 難水溶性でなく (水溶解度=1200mg/L、急性 毒性が低いことから区分外。
残留性、分解性	データなし
土壤中の移動性	データなし

---

1.3、廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
中和性	発熱のおそれがあるので、大量の水中に投じ、消石灰とし、これを希硫酸で中和して処理する。
汚染容器及び包装	内容物を取り除いた後、地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

---

1.4、輸送上の注意

国内規制	
陸上規制	特段の規制なし
海上規制	非危険物
航空規制	航空法の規定に従う。
UN No.	1910

品名	酸化カルシウム
クラス	8 (腐食性物質)
容器等級	III

---

#### 15、適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)
消防法	貯蔵等の届出を要する物質 (1 の 4) CaO>80%以上を 500kg 保管する場合
航空法	腐食性物質 等級 3 (施行規制第 194 条危険物告示別表第 1 腐食物質)

---

#### 16、その他

(1) この安全データシート (SDS) は各種の文献などに基づいて作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには十分に注意して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

(2) 本 SDS は、下記宮城石灰工業株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	宮城石灰工業株式会社
住所	宮城県登米市中田町上沼字北桜場 86
担当部門	営業
電話番号	0220-34-2005
緊急連絡電話番号	0220-34-2005
FAX 番号	0220-34-4864